

## Googleで写真と動画を共有しよう！

### Googleフォトで写真や動画を共有する(パソコン)

1.photos.google.com にアクセス。

- 写真や動画を個別に共有する：カーソルを写真や動画に合わせます。をクリックして写真や動画を 選択します。複数のアイテムを選択できます。
- アルバムやムービーを共有する：アルバムやムービーを開きます。

2.共有アイコンをクリックします。

3.名前かメールアドレスを入力または選択します。

### Googleフォトで写真や動画を共有する「Android」「iPhone & iPad」

1.Google フォト  アプリ を開きます。

2.共有する写真、アルバム、ムービーを  
タップします。

3.共有アイコン「Android」→ , 「iPhone & iPad」→  をタップします。

4.名前、電話番号、メールアドレスのいずれかを  
入力または選択します。

### その他の共有方法

- 別のアプリで共有する。
- [リンクをコピー]または[リンクを作成]をクリックして他のユーザーにリンクを送信する。
- [共有アルバム]をクリックして他のユーザーも写真を追加できるアルバムを作成する。

## PLEASURE NEWS 編集

2月後半は風の強い日が続きましたね。北風と南風が日替わりで吹き荒れ、もうやめと思うくらい冬と春を行ったり来たり。この時期って毎年こんなに風が吹いてたっけ？と振り返ったものの、強風の季節という印象がありません。ともあれ、寒風に向かって文句を言っても仕方ないし、季節が進んで暖くなるのを待つしかないと思っていた数日後、春の訪れを実感しました。

会社の帰り道、どこからともなく沈丁花の香りが鼻先をかすめたのです。辺りは暗く、自転車で通り過ぎた為、一瞬のことでしたが、間違えようのない強い香り。早春の香りです。ハッとしました。冬は過ぎたんだ。寒い寒いと思っていたけれど、実際に朝晩はまだ寒いけれど、春が来るんだ！と、浮き立つ気持ちになったのでした。



## 今月の一冊

「星がひとつほしいとの祈り」著：原田 マハ

書店で原田マハさんの名前をよく目にするようになったのが、いつ頃からだったかは覚えていませんが、そのうち読もうと気になっていた作家さんでした。

さて、初めての原田マハさん。短編で読みやすそうな小説から入りました。この本は7編の作品が収められています。どれもがちくりと、あるいはヒリヒリと痛く、その先に小さな光が見えるようなじわんとくるお話でした。他にどんなものを書くだろうと興味がわきました。すでにけっこうな作品数が出版されています。どれから読もうか迷うところです。

【内容】(「BOOK」データベースより)  
売れっ子コピーライターの文香は、出張後に寄った道後温泉の宿でマッサージ師の老女と出会う。盲目のその人は上品な言葉遣いで、戦時中の令嬢だった自らの悲恋、献身的な女中との交流を語り始め…(「星がひとつほしいとの祈り」)。  
表題作ほか、娘として妻として母として、20代から50代まで各世代女性の希望と祈りを見つめ続けた物語の数々。

